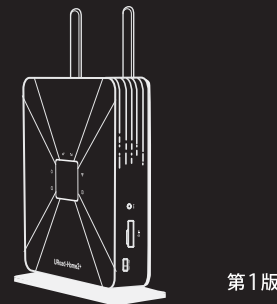


WiMAX 2+ URoad-Home2+ かんたん設定マニュアル



第1版

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。このマニュアルでは本製品のセットアップ方法を説明しています。使用前にこのマニュアルをお読みになり、正しくお使いください。このマニュアルは大切に保管してください。



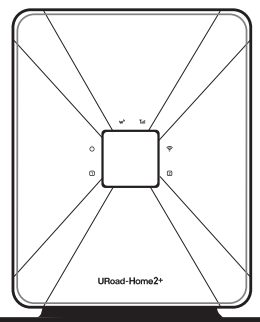
- 本製品のご利用には、WiMAX/WiMAX 2+サービス事業者との回線契約が別途必要です。
- WiMAXは、WiMAX Forumの登録商標です。
- URoadは、MODACOM CO., LTD.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows7、Windows 8.1は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の商標又は登録商標です。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- Firefoxは、米国Mozilla Corporationの米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- Safariは、Apple, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載された会社名、製品名及びロゴは各社の登録商標です。

購入時、本製品の無線LANセキュリティはWPAPSKWPA2PSKが設定されています。その他セキュリティへの設定変更に関しましては、本製品のWEB設定画面にログイン後、変更してください。

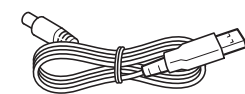
お使いになる前に

パッケージの中身を確認します

- URoad-Home2+本体 —— 1台
- 外付アンテナ —— 1セット
- ACアダプター —— 1台

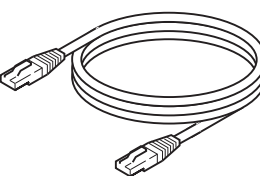


- 電源ケーブル —— 1本



※ ACアダプターと電源ケーブルは、本製品以外の機器に接続しないでください。

- LANケーブル —— 1本



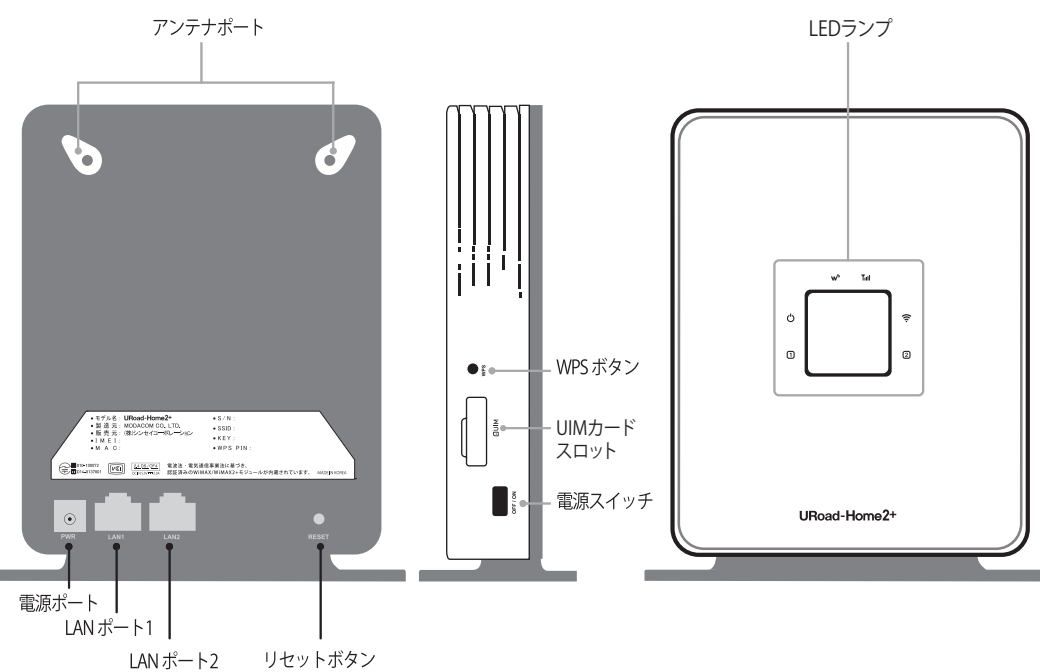
- かんたん設定マニュアル(本書)



- 保証書

- 本体固定用両面テープ —— 2枚
- ※ 本体底面に貼り付け、設置場所に本体を固定します。

本体各部の名称

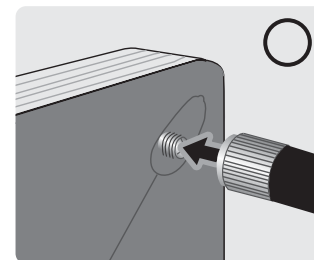


URoad-Home2+を準備します

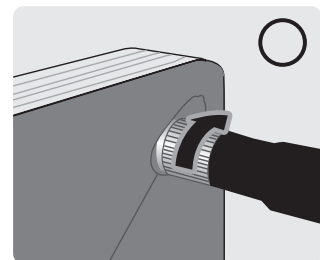
アンテナを取り付ける

- アンテナポートに、付属の外付アンテナを図のように装着します。
- アンテナコネクタを握って、矢印の方向へ回しながら装着してください。
- 装着後、アンテナの先端を上に向けてください。

[正しい装着の仕方]



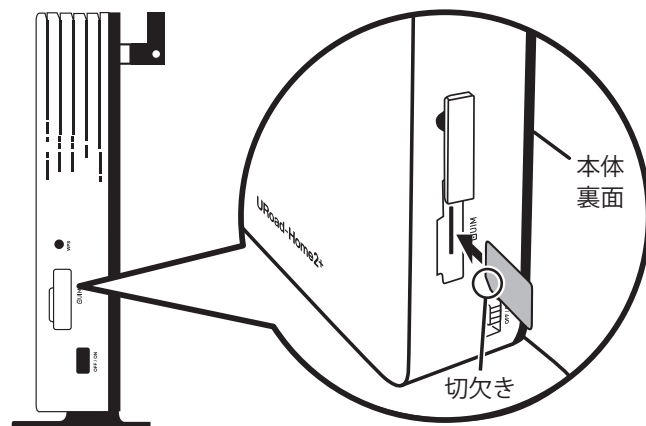
[誤った装着の仕方]



- 付属のアンテナを必ず装着し、ご使用ください。
- アンテナコネクタ以外の部分を握って装着すると、アンテナがきちんと装着されなかったり、アンテナの破損及び故障の原因となりますので、ご注意ください。
- アンテナの角度を地面と平行にして使用しないでください。不安定になり、アンテナの破損及び故障の原因となります。

UIMカードを装着する

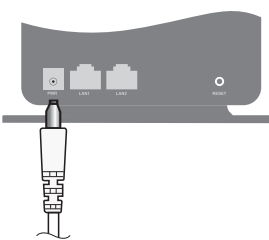
- UIMカードスロットカバーを開け、UIMカードのIC(金属)部分を本体裏面に向けてカチッと音がするまで差し込みます。
- UIMカードスロットカバーを閉じます。



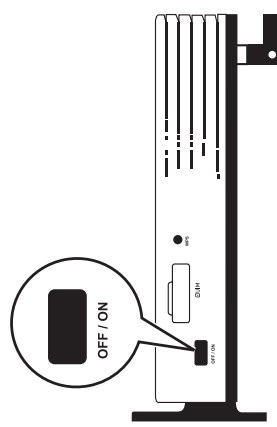
- 切欠きの方向にご注意ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- WiMAXサービス事業者と契約したUIMカードをご使用ください。

電源を入れる

- 本体裏面にある電源ポートに付属の電源ケーブルを接続します。
- 電源ケーブルのUSBコネクタをACアダプターに接続し、ACアダプターをコンセントに差し込みます。



- 本体右側側面にある電源スイッチで電源をONにします。

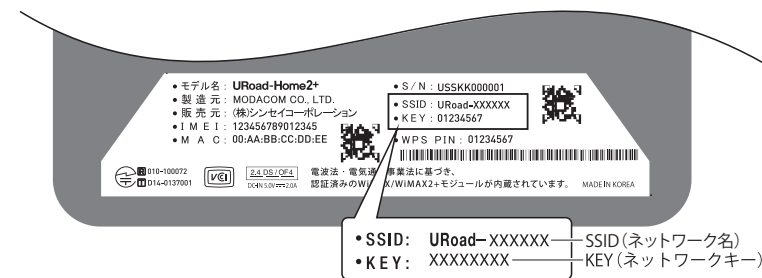


- 最新のファームウェアであることを、WEB設定画面にてご確認ください。本製品のバージョンは、ソフトウェアの自動アップデートで確認できます。操作方法は、裏面の<ソフトウェアアップデート>を参照してください。

ネットワークに接続します

無線LANで接続する

- 本体の電源をONにし、スマートフォンやノートPCなどWi-Fi対応機器の電源を入れます。
- 本体裏面のラベルで、本製品のSSID(ネットワーク名)とKEY(ネットワークキー)を確認します(※下図参照)。



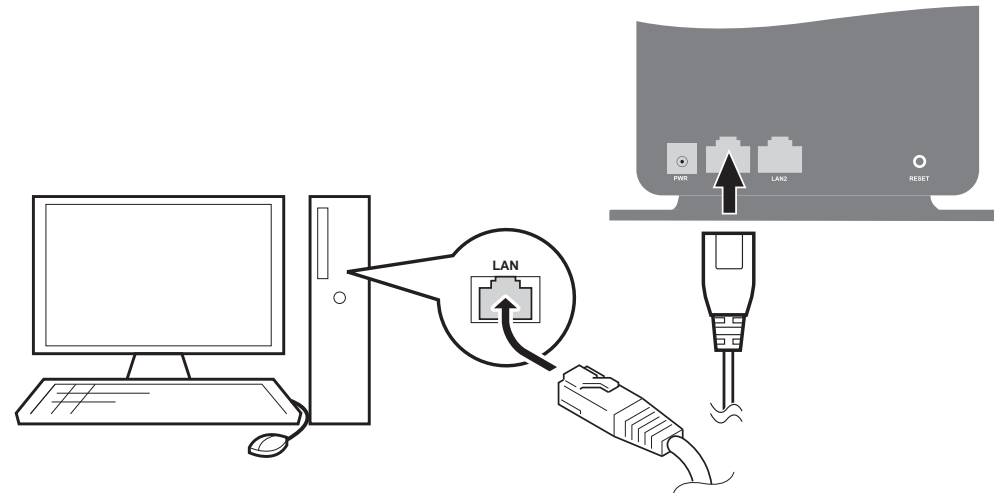
- ご使用のWi-Fi対応機器のネットワーク接続画面で本製品のSSID(ネットワーク名)を選択し、「接続」ボタンをクリックします。
- 本製品のKEY(ネットワークキー)を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
- Webブラウザを起動し、インターネットに接続できるかどうか確認してください。



- 本手順は、Windows8.1での接続例です。
- 本製品は、個人情報保護のためにネットワークキーを使ったセキュリティが設定されています。使用時、お客様にてネットワークキーを変更できます。
- 第三者の端末が接続されると、お客様の使用が制限されたり、使用量によっては料金が発生する場合もございますので、ネットワークキーのセキュリティに注意してください。

有線LANで接続する

- 本体のLANポートに、付属のLANケーブルを接続します。



- パソコンのLANポートに、付属のLANケーブルを接続します。
- 本体のLAN LEDが点灯することを確認します。
- Webブラウザを起動して、インターネットに接続できるかどうか確認してください。

プロファイル設定方法

ご契約のWiMAX事業者からインターネット接続に必要な接続設定情報が指定されている場合は、以下の手順に従ってプロファイルの追加を行ってください。

1. WEBブラウザを起動し、WEB設定画面にログインします。設定画面が表示されます。
2. メニューから「WAN設定」→「プロファイル設定」を選択します。
3. 「追加」ボタンをクリックし、「プロファイル名」に任意の接続設定名を「APN」「ユーザ名」「パスワード」など、ご加入のWiMAX事業者から指定された情報を入力します。
4. 設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。
5. 「プロファイルの選択」で新しく登録したプロファイルが保存されていることを確認します。異なるプロファイルが選択されている場合は、追加したプロファイルを選択し、「適用」ボタンをクリックします。



- APNプロファイルに誤りがある場合、WAN LEDがグリーン点滅かつ、電波強度LEDがレッド点滅になります。設定内容をご確認ください。

LEDランプ表示説明

Power		
	電源ON	グリーン点灯
WAN		
	WiMAX 2+に接続	グリーン点灯
	WiMAXに接続	ブルー点灯
電波強度		
	電波強度：強	グリーン点灯
	電波強度：中	オレンジ点灯
	電波強度：弱	レッド点灯
	圏外	レッド点滅
Wi-Fi		
	無線LAN動作中(2.4GHz)	グリーン点灯
	無線LAN動作中(5GHz)	ブルー点灯
	WPS 動作中	グリーン/ブルー交互点滅
	無線LANオフ	消灯
LAN1/LAN2		
	有線LAN接続	グリーン点灯
	有線LANで通信中	グリーン点滅
	有線LAN 未接続	消灯
その他、状態別LED表示		
UIMカード未挿入		
エラー発生※		
ソフトウェアアップデート中		
初期化中		

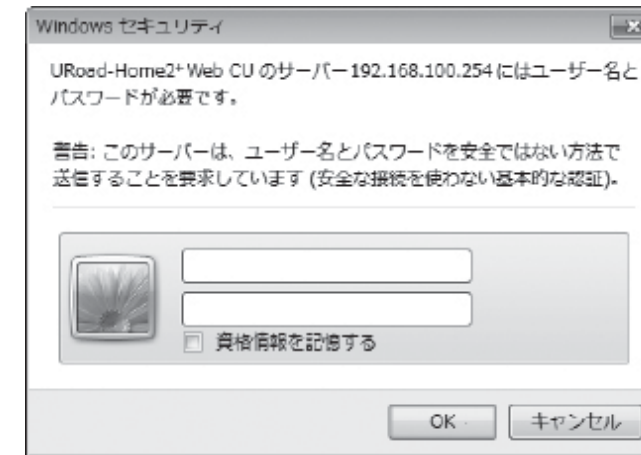
※ プロファイルの誤入力、契約のない状態のUIMカードや認識できないUIMカード(他社UIMカード等)挿入時等

WEB設定画面へのログイン

WEB設定画面では端末情報の照会※、設定変更、端末制御ができます。確認および変更する方法は、設定画面内に表示されるヘルプをご参照ください。
※ソフトウェアバージョン、IMEI、電話番号等(本製品では音声電話の発信は行えません)
WEB設定画面はインターネットが接続されていない状態でも使用することができます。

設定画面接続

- 本製品とパソコンを有線または無線LANで接続し、Webブラウザを起動します。
- Webブラウザのアドレスバーに「192.168.100.254」と入力し、「Enter」キーを押します。
- ログインダイアログボックスに次のように入力し、「OK」をクリックします。
ユーザー名: admin
パスワード: ネットワークキー(※「無線LANで接続する」の本体裏面図を参照)
- ログインが完了します。



ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートは、WEB設定画面で実行します。実行方法には「アップデート実行」ボタンを押して実行する[自動アップデート]と自分でファイルを選択して実行する[手動アップデート]があります。

<h3>システム設定</h3> <table><tbody><tr><td>アカウント設定</td><td></td></tr><tr><td>アカウント</td><td>admin</td></tr><tr><td>パスワード</td><td></td></tr><tr><td>パスワード(確認)</td><td></td></tr><tr><td><input type="button" value="適用"/></td><td></td></tr><tr><td>ソフトウェアアップデート</td><td></td></tr><tr><td>ファイル選択</td><td><input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="参照…"/></td></tr><tr><td>自動アップデート</td><td></td></tr><tr><td><input type="button" value="アップデート実行"/></td><td></td></tr></tbody></table>	アカウント設定		アカウント	admin	パスワード		パスワード(確認)		<input type="button" value="適用"/>		ソフトウェアアップデート		ファイル選択	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="参照…"/>	自動アップデート		<input type="button" value="アップデート実行"/>		<h3>システム設定</h3> <ul style="list-style-type: none">アカウント設定 WEB設定画面のログインパスワードを変更できます。ソフトウェアアップデート <ol style="list-style-type: none">参照ボタンをクリックして、事前にダウンロードしたソフトウェアファイルを選択します。適用ボタンをクリックすると、ソフトウェアアップデートが始まります。自動アップデート 「アップデート実行」ボタンをクリックすると、リモートサーバに接続して自動的にアップデートを開始します。工場出荷時設定復元 「工場出荷」値に戻すボタンをクリックすると、SSID/KEY値などのパラメータ設定が製品購入時の状態に戻ります。初期値が完了したら再起動します。再起動後、本製品とWi-Fi機器を接続する際は、SSID/KEY値などが初期値に戻っていますので再設定の上接続してください。工場出荷時設定復元 工場出荷時設定復元 デフォルト値に戻すシステム再起動 本製品を再起動します。
アカウント設定																			
アカウント	admin																		
パスワード																			
パスワード(確認)																			
<input type="button" value="適用"/>																			
ソフトウェアアップデート																			
ファイル選択	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="参照…"/>																		
自動アップデート																			
<input type="button" value="アップデート実行"/>																			
<p>●自動アップデート</p> <p>新規ソフトウェアがある場合、アップデートサーバーに接続して自動的にアップデートを行うことができます。</p> <p>- WEB設定画面のメニューから「基本設定」→「システム設定」を選択します。</p> <p>- 「自動アップデート」の項目から[アップデート実行]ボタンをクリックします。</p> <p>- 自動でソフトウェアのアップデートが実行されます。</p> <p>- アップデートが完了すると自動的に再起動します。</p>																			
<p>●手動アップデート</p> <p>弊社ホームページ(http://www.shinseicorp.com/wimax2plus/)から最新のソフトウェアをダウンロードし、手動でソフトウェアのアップデートを行います。</p> <p>- 弊社ホームページ(http://www.shinseicorp.com/wimax2plus/)に接続し、新規ソフトウェアをダウンロードします。</p> <p>- WEB設定画面のメニューから「基本設定」→「システム設定」を選択します。</p> <p>- 「ソフトウェアアップデート」の項目で[参照]または[ファイルを選択]ボタンをクリックします。</p> <p>- ダウンロードしたファイルを選択し、[適用]ボタンをクリックしてソフトウェアのアップデートを実行します。</p> <p>- アップデートが完了すると自動的に再起動します。</p>																			
<table><tbody><tr><td></td><td><ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの電源を切らないでください。ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの接続を切断しないでください。</td></tr></tbody></table>		<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの電源を切らないでください。ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの接続を切断しないでください。																	
	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの電源を切らないでください。ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの接続を切断しないでください。																		

●自動アップデート

新規ソフトウェアがある場合、アップデートサーバーに接続して自動的にアップデートを行うことができます。

- WEB設定画面のメニューから「基本設定」→「システム設定」を選択します。

- 「自動アップデート」の項目から[アップデート実行]ボタンをクリックします。

- 自動でソフトウェアのアップデートが実行されます。

- アップデートが完了すると自動的に再起動します。

●手動アップデート

弊社ホームページ(http://www.shinseicorp.com/wimax2plus/)から最新のソフトウェアをダウンロードし、手動でソフトウェアのアップデートを行います。

- 弊社ホームページ(http://www.shinseicorp.com/wimax2plus/)に接続し、新規ソフトウェアをダウンロードします。

- WEB設定画面のメニューから「基本設定」→「システム設定」を選択します。

- 「ソフトウェアアップデート」の項目で[参照]または[ファイルを選択]ボタンをクリックします。

- ダウンロードしたファイルを選択し、[適用]ボタンをクリックしてソフトウェアのアップデートを実行します。

- アップデートが完了すると自動的に再起動します。

	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの電源を切らないでください。ソフトウェアのアップデート中は本製品とPCの接続を切断しないでください。
--	--

本製品をお買い上げ時の状態に戻すには

本製品のSSIDやKEY、セキュリティ方式などの各設定を初期設定の状態に戻すことができます。初期化を行う方法には、本製品裏面の右側下段部のリセットボタンを使用する方法と、WEB設定画面を使用する方法があります。

	<h3>リセットボタン</h3> <p>本製品裏面の右側下段部のリセットボタンを約10秒間長押しすると、本製品が再起動します。</p>
	<h3>WEB設定画面</h3> <ol style="list-style-type: none">本製品とパソコンを有線または無線LANで接続します。 WEB設定画面にログインします。 「基本設定」→「システム設定」を選択し、「工場出荷時設定復元」項目の[デフォルト値に戻す]をクリックします。

5GHz Wi-Fiのご利用について

5GHz帯のご利用には設定が必要になります(初期設定は2.4GHz帯になっています)。設定はWEB設定画面の「ワイヤレス設定」メニューにて行います。5GHz帯で使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)

- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)

- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

●5GHz帯利用上の注意

- 5.2GHz(W52)、5.3GHz(W53)帯の屋外利用は電波法により禁止されていますのでご注意ください。屋外で利用する場合は、「ワイヤレス設定」の「基本設定」項目で[周波数(チャンネル)]を5.6GHz(W56)帯に設定してください。

●DFS(Dynamic Frequency Selection)について

本製品はDFS(Dynamic Frequency Selection)機能に対応しております。5GHz帯の一部の周波数帯域は気象レーダーなどが使用する周波数帯域と重複していますので気象レーダーなどの干渉波を常に監視し、検出次第、電波干渉を起こさないよう別のチャンネルに自動的に切り替わります。

※別のチャンネルに切り替わる際、約1分間程度かかります。必要に応じて2.4GHz帯をお使いください。

製品仕様

サイズ(W×D×H)	約140×53×170mm(アンテナを除く)
重量	約311g(アンテナを含む)
インターフェース	RJ-45ポート×2 <p>電源ポート</p>
WEB設定画面对応ブラウザ	Windows(7/8/8.1):IE、Mac(10.7以降):Safari
通信方式	WiMAX 2+、WiMAX(WiMAX/ハイパワ)
無線LAN規格	IEEE802.11 a/b/g/n (2.4GHz/5GHz)
有線LAN規格	10 Base-T/100 Base-T
セキュリティ	WPA-PSK(AES/TKIP)、WPA2-PSK(AES/TKIP)、SSIDステルス機能 等
無線LAN同時接続台数	16台(SSID*2*8台)
機能	WEB設定対応、MACアドレスフィルタリング、Wi-Fiのオンオフ、VPN/パススルー (PPTP)、ダイナミックDNS

困った時には

WiMAX/WiMAX 2+に接続できません。

- LEDランプが消灯している場合は、本製品の電源が入っているかを確認してください。
- 電波強度LEDがレッド点滅の場合は、WiMAXまたはWiMAX 2+サービスエリア外です。サービスエリア内へ移動してください。
- WAN LEDがグリーン点滅かつ、電波強度LEDがレッド点滅の場合は、エラーが発生しています。ご契約のWiMAXサービス事業者のUIMを装着しているか、または、プロファイル設定のAPNプロファイルに誤りがないかご確認ください。設定方法は<プロファイル設定方法>を参照してください。
- WiMAXまたはWiMAX 2+サービスエリア内でも接続されない場合は、WiMAXサービス事業者との回線契約を確認してください。
- アンテナが正しく装着されているか確認してください。装着方法は表面の<アンテナを取り付ける>を参照してください。
- UIMカードの方向が正しく装着されているか確認してください。

Wi-Fiには接続していますが、データを送受信できません。

- 本製品にWi-Fi機器が接続されていることを確認します。接続されていない場合は、接続してください。
- 電波強度LEDがレッド点滅の場合は、WiMAXまたはWiMAX 2+サービスエリア外です。サービスエリア内へ移動してください。
- アンテナが正しく装着されているか確認してください。装着方法は表面の<アンテナを取り付ける>を参照してください。

変更したKEY(ネットワークキー)を忘れてしまいました。

- 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。操作方法は<本製品をお買い上げ時の状態に戻すには>を参照してください。

WEB設定画面が表示されません。

- LED表示が消灯している場合は、本製品の電源が入っているかを確認してください。
- WEB設定画面のIPアドレスに間違いがないかご確認ください。

安全に正しくお使いいただくために

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、お読みになった後は大切に保管してください。

図記号の意味				
警告、注意をうながす記号				
行為を禁止する記号				
行為を指示する記号				

危険

指示に従わなかった場合に、人が死亡もしくは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定されます。

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・破裂・故障の原因となります。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。発火・破裂・故障・火災・障害の原因となります。

- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・障害の原因になります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

警告

指示に従わなかった場合に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されます。

- 必ず専用のACアダプターを使用してください。専用のACアダプター以外を使用した場合、発熱、発火、故障の原因となります。

- 本製品を分解、改造、修理しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

- 本製品や接続するパソコンの接続端子に、導電性の物(金属片など)や燃えやすい物などの異物が混入しないようにしてください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。

- 火中や水中への投入は絶対に行わないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。

- 万一、本製品から煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合は、すぐに本製品のACアダプターを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- 本製品を水などの液体にかけたり、濡らしたりしないでください。また、浴室内・加湿器の近くなどの湿度の高くなる場所や雨に濡れる場所、および濡れた手での使用はしないでください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。万一、製品を破損させた場合は、すぐに本製品のACアダプターを抜いてください。そのまま使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。

- 本製品や接続するパソコンの接続端子に、手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電、故障の原因となります。

- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。万一、製品を破損させた場合は、すぐに本製品のACアダプターを抜いてください。そのまま使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。

本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。

※本体および付属するACアダプターに関する内容を示しています。

- 本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする原因となります。

- 本製品は一般家庭用機器として設計されています。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(基幹通信機器や計算機システムなど)では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生したり、人が死亡または重傷を負う原因となります。

- 埋込み型心臓ペースメーカおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本製品を装着部から2 cm以上離して使用してください。電波によって、埋込み型ペースメーカおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える原因となります。

- 自宅療養などで、医療機関以外の場所で医用電気機器を使用している場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーにご確認ください。電波によって、医用電気機器の動作に影響を与える原因となります。

- 医療施設の屋内では、次のことを守って使用してください。電波によって、医用電気機器の動作に影響を与える原因となります。
 - ・本製品は、手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視室(CCU)には持ち込まないでください。
 - ・病棟内では本製品を使用しないでください。
 - ・ロビーなどでも付近に医用電気機器がある場合は、本製品のACアダプターを抜いてください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止場所や持ち込み禁止場所を定めている場合は、指示に従ってください。

- 航空機内や病院内など無線機器の使用が制限されている場所には、本製品を設置しないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 自動車やエレベーター、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに本製品のACアダプターを抜いてください。安全走行や安全進行を阻害する原因となります。

- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や障害の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら、本製品を使用しないでください。落雷による感電、故障の原因となります。

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- ACアダプターの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、感電の原因となります。

- 電源ケーブルの本体接続端子の根本を強く引っ張ったり、曲げたり、ケーブルを機器に丸めたりしないでください。接触不調となり、火災、感電や電源供給ができなくなる原因となります。

- 電源ケーブルが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。電源プラグにほこりがついたまま使用すると、火災・やけど・感電の原因となります。

- 本製品を使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。コンセントに挿したまま放置すると、発火・火災の原因となります。

- 本製品の上に乗らないでください。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。けがや破損の原因となります。

- 本製品は、使用中や使用後に温かくなる場合がありますが、正常です。ただし、長時間、同じ場所に触れ続けると、低温やけどのおそれがあります。

- 本製品は、直射日光のあたる場所や、ストーブやヒーターなど発熱する機器の近く、炎天下の車内など、高温になるところに設置、保管、放置しないでください。機器の変形や故障の原因となります。また、本製品の一部の発熱によるやけどや、本製品内部が高温になって火災の原因となります。

- コンセントや配線器具は定格を超えないで使用してください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。</div> <div>この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。ラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。</div> <div>かんたん設定マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。</div>
